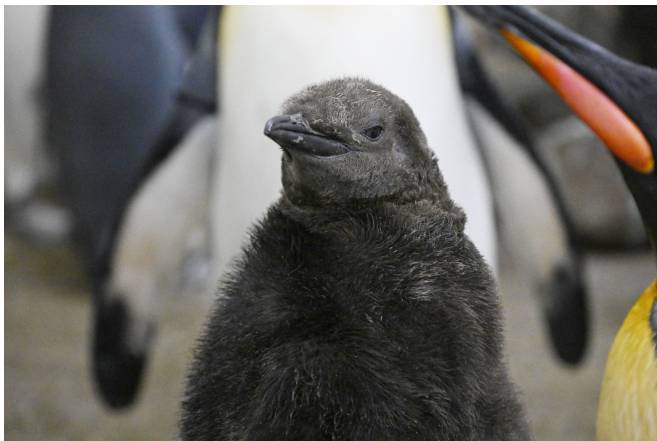


まるでキウイフルーツ?!この夏に誕生したオウサマペンギンの赤ちゃん2羽の一般公開がスタートします!2026年9月25日(金)～



左:2026年7月17日生まれ 右:2026年8月4日生まれ

アドベンチャーワールドでは、2026年7月17日(金)と8月4日(火)に誕生したオウサマペンギンの赤ちゃん2羽について、9月25日(金)より海獣館2階での一般公開を開始します。

孵化後はアニマルエデュテイナー(飼育スタッフ)による初期人工育雛を経て、親鳥のもとで大切に育てられ、現在はシシャモなどを食べながら成長してきました。今後の成長に向け、親鳥と離れ、赤ちゃん2羽での生活がスタートします。オウサマペンギンの赤ちゃんは成長すると、もふもふとした茶色の羽に覆われたまま、大人のペンギンと同じくらいの大きさになります。その見た目はまるで大きな「キウイフルーツ」。今しか見られない赤ちゃんのかわいい姿と、すくすくと成長していく様子をぜひご覧ください。

【オウサマペンギンの赤ちゃんの一般公開について】

- ・開始日 :2026年9月25日(金)
- ・公開場所:海獣館2階
- ・公開時間:午前10時00分～午後5時00分
※動物の体調等により、公開を中止する場合がございます。

【公開個体について】

〈1羽目〉

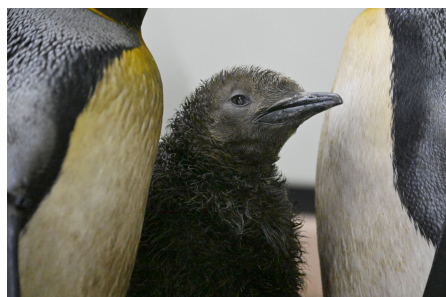
孵化日:2026年7月17日(金)

体重 :6,938g(9月20日現在)

親情報:父親 2014年2月 8日 アドベンチャーワールド生まれ

母親 2020年1月15日 アドベンチャーワールド生まれ

性別 :不明



〈2羽目〉

孵化日:2026年8月4日(火)

体重 :5,168g(9月20日現在)

親情報:父親 2013年2月5日 アドベンチャーワールド生まれ

母親 2014年2月9日 アドベンチャーワールド生まれ

性別 :不明



※生後およそ1年を目途に、DNA判定により雌雄判別を行います。

【アニマルエデュテイナーより】

大森 美穂（おおもり みほ） ペンギン飼育担当

経歴：大学では水や水棲動物に関することを学びました。入社後はマリンライブの映像担当や、アトラクションのパフォーマーを経験し、現在はペンギンの飼育に携わっています。

特技：ペンギンの食事用の「シシャモ」の雌雄をすぐに判別する事ができます

コメント：

今までバックヤードで暮らしており、なかなかゲストの皆様に見ていただく機会がなかったので、今回皆様に見ていただけることとなり嬉しく思います。

オウサマペンギンの赤ちゃんはまだまだ大きくなりますので、ぜひ成長を見届けていただきたいです。今しか見れないふわふわの赤ちゃんにぜひ会いにきてください！



【オウサマペンギンの初期人工育雛について】

アドベンチャーワールドでは、卵や赤ちゃんが親鳥の重みで潰れてしまうのを防ぎ、育成率を向上させるために「初期人工育雛」を行っています。卵を親鳥から預かって孵卵器で孵化させ、体重が安定する約300gまで人の手で育ててから親鳥のもとへ返します。卵を預かっている間、親鳥には擬卵（石膏で作った偽物の卵）を抱かせておき、体力がついた赤ちゃんを入れ替えます。

【オウサマペンギンについて】

- 分 類：ペンギン目ペンギン科
- 学 名：*Aptenodytes patagonicus*
- 英 名：King Penguin
- 生息地：フォークランド諸島、サウスジョージア島などの亜南極圏
- 食 性：アドベンチャーワールドでは主にホッケ、シシャモなど
- 繁 殖：1度の繁殖で1個の卵を産み、足の上にのせ腹部の皮（抱卵囊）をかぶせ、オスとメスが交代しながら52～56日抱卵する。
- 寿 命：20～30年
- 体 長：85～95cm ■体 重：約15kg
- 特 徴：世界で2番目に大きなペンギンで、頭や胸元の鮮やかな色が特徴。名前の由来はエンペラーペンギンの発見まで最も大きなペンギンとされていたため、オウサマ（キング）ペンギンと名付けられた。

